

胃の手術を受けられる患者様へ(入院治療計画書:胃切除術)

ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME 様

生年月日: @PATIENTBIRTH2(@PATIENTBIRTH)

病名(症状):

入院科/病棟: @USERBELONGSECTION / @PATIENTWARD

主治医: @主担当医 (印)

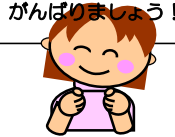
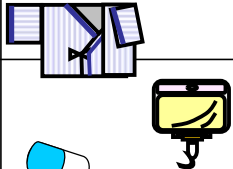
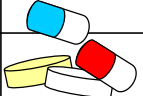
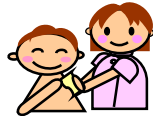
担当医: @担当医1

担当看護師: @担当看護師

主治医以外の担当者: 薬剤師

管理栄養士

2020/03/01 作成

月／日	／		／		／		／		／		／	
経過（病日等）	外来	入院日～手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1病日	2病日	3病日	4～10病日		11病日～退院日		
達成目標	①手術・治療について説明をうけ、安心して準備段階をすごすことができる。 ②わからないことは遠慮せず、医療者に確認することができる。 		①術前準備について説明をうけ、安心して手術室へ出庫できる	① 医療者の問いかけ、指示に従うことができる（深呼吸） ② ベット上安静・絶飲食が守れる ③ 痛みを訴えることができる。	①早期離床ができる。 ②痛みを訴えることができる ③ 術後偶発症について説明を受け、予防行動がとれる。	①看護師の介助にてトイレ歩行ができる。	①少量ずつ飲水ができる	①食事摂取の仕方と合併症について説明を受け、少量ずつ分食ができ、合併症を予防できる ②少しずつ身の回りのことができるようになる		①退院後の日常生活の注意事項について説明を受け、安心して退院できる ＊退院の目安は術後約3週間以内です。		
治療・処置		〇臍をきれいにします 〇必要に応じて除毛を行います 	〇朝～点滴をはじめます 〇看護師が弾性ストッキングをはくお手伝いをします 〇手術着に着替えます 	〇酸素マスク・心電図をします 〇手術後の点滴をします 〇抗生剤の点滴をします 〇膀胱留置カテーテルが入ります 	〇酸素マスク・心電図をはずします 〇傷口を確認します 〇お鼻の管を抜きます 〇24時間持続にて点滴をします	〇傷口を確認します 〇膀胱留置カテーテルを抜去します。その後、トイレで排泄ができます			〇傷口を確認します（お腹の管を抜きます） 〇食事とともに点滴を減らし、6病日で終了の予定です			
検査	〇胸部・腹部のレントゲン写真、血液検査、心電図、呼吸機能検査などをします 			〇採血をします 	〇採血をします 〇胸部・腹部のレントゲン写真をとります	〇採血をします 〇胸部・腹部のレントゲン写真をとります		〇採血、胸部・腹部レントゲン写真があります（検査前日にお知らせします）				
内服	〇お薬を飲んでいる方は他院の薬を含めてすべて持参してください 〇20時に下剤を飲みます											
食事	〇夕食（濃厚流動食）までとれます 〇飲水は自由です		〇午前（ ）時まで飲水ができます 	〇手術後は食べたり飲んだりできません 	〇氷片・ごく少量の水分はとれます。 	〇飲水が可能になります 〇流動食が始まります		〇3または4病日目より食事が開始となります。重湯、3分、5分、7分、全粥の順に1日おきに食事形態が変化します 				
看護	〇院内は自由です 〇入浴またはシャワーができます 〇トイレで排泄ができます		〇看護師が頻回に伺い、体温や血圧測定などを行います 〇ベット上で安静です 〇寝返りはできます 〇痛みがある時、眠れない時は看護師までお声をかけてください。点滴ができます。	〇看護師が体を拭くお手伝いをします 〇歩行を開始します			〇第6病日以降、シャワー浴ができます 					
リハビリ						〇院内は自由です（1日1回以上は歩行練習をしましょう）						
説明・指導	〇外科医師より、入院の日程、手術について説明があります 〇麻酔科を受診し、麻酔医の説明を受けます	〇医師より手術について説明があります 〇看護師より入院生活について説明があります 〇手術室看護師が訪問に伺います 〇薬剤師より持参薬・服薬歴の確認を行います	〇術前の準備、術後の状態、痛みのケア、安静、トイレ、清拭についてご説明します 〇手術前にうがい、歯磨きを済ませておいてください 〇ヘアピン、義歯、貴金属類をおとりください 〇手術前にトイレを済ませておいてください	〇担当医から、ご家族の方へ手術結果の説明があります 	〇歩行方法・トイレについてご説明します	〇飲水の方法についてご説明します		〇食事の摂取方法および合併症（ダンピング症状）の予防についてご説明します 		〇退院後の生活についてご説明します 〇特別な栄養管理の必要性があり、栄養士より退院後の食事についてご説明します 〇次回の外来受診日についてご説明します		

★ 特別な栄養管理の必要性

有 無

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2 入院期間については現時点で予測されるものです

ご不明な点は遠慮なくスタッフにお尋ねください。

高齢者総合評価の実施

有 無

総合的な	基本的生活動作	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
機能評価	日常生活動作	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
	認知機能	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察

上記の説明を受け、治療内容を理解しました。

@SYSDAT2

説明者:

説明を受けた人:

(代表者)

続柄

()

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院

パス承認番号(No.1)(No.122) 承認年月日(2014年8月13日)<管理No.14>